

■講義名（和文）：	知識創造特論II 未来経営ワークショップ フューチャーデザインの方法論
■担当教員名：	紺野 登 ゲスト講師： 橋本大也氏、 向江美緒氏
■サブタイトル：	シナリオ・プランニングと可能主義の戦略
■講義名（英文）：	Executive Knowledge Forum(2) Future Management Workshop
<p>■講義目的： 「知識創造」としてのシナリオ・プランニング、可能主義の戦略について体験し考える場をオープン・カリキュラムとして提供する。</p> <p>■講義要旨： 「知識創造」とは常に未来に向けた創造、イノベーションであり、ビジョン、未来への志向性とともに不確実で複雑な環境の中で「可能主義」(ポシビリズム)を追求することである。それは未来について構えるのではなく、未来に向けて変容しえることである。本講座ではシナリオ・プランニング、未来研究等の方法論に焦点をあて、ワークショップでの実践経験を交えて可能主義の戦略を理解する。</p>	
■講義の進め方：	全15講 3日間のワークショップ形式 及びグループ作業

第一日 10月21日(日)	1. オリエンテーション 2. イノベーション経済、未来への視座 3. 可能主義の戦略の系譜 4. シナリオプランニング技法について 5. シナリオプランニング演習(1) ワークショップ 6. テーマスポンサーへのヒアリング 7. シナリオプランニング演習(2) ワークショップ
第二日 11月18日(日)	8. シナリオプランニング演習(3) ワークショップ 9. シナリオプランニング演習(4) ワークショップ 10. シナリオプランニング演習(5) ワークショップ 11. シナリオプランニング演習(6) ワークショップ
第三日 12月16日(日)	12. プレゼンテーション 13. テーマスポンサーへのプレゼン 14. シナリオの吟味と意味合いについてのレビュー 15. 総括、討議

■シナリオのテーマについて：

複数の「テーマスポンサー」からデータの提示、問題点の提示があり、それにしたがってシナリオを策定します。参加者は申し込み後、どれかのテーマを選択してください（希望に沿えない場合もあり）

■教科書等：指定図書、参考図書、論文など

1. オグルビー,J、紺野登、野中郁次郎(2005)《知識創造としてのシナリオ PART1 シナリオ・プランニングのベーシック&PART2 シナリオ・マインドのすすめ》Think! 2005 SPR. SUM No.13&14
2. 紺野登(2005)《「分析と計画」から「仮説と実践」へ—ポシビリズムの戦略論》ハーバードビジネスレビュー—2005年7月号
3. 橋本大也(2006)『情報考学—WEB時代の羅針盤213冊』主婦と生活社
4. シュワルツ,P.(2000)『シナリオ・プランニングの技法』東洋経済新報社

■評価について： 評価方法・基準など

出席、シナリオ・プランニング等の演習、実践レポートの発表。

■その他： 特に留意する事項など

すべてワークショップ形式であるので出席は不可欠、多摩大院以外からの出席者も含めたオープンなワークショップです